

TOPPING™

D50

説明書

広州市拓品電子科技有限会社のD50デジタルデコーダをご利用いただき、誠にありがとうございます。

D50は高性能のデジタルデコーダであり、USB・同軸・ファイバーでコーディングなど機能が備わっています。USB最大に768kHz/32Bit、DSD512に対応しています。D50オールデジタルボリューム制御はOLEDパネルを付けておき、デコーダだけでなく、preampとしても利用できる。D50でお客様にHi-Fi音楽体験と楽しみを提供することを期待しています。

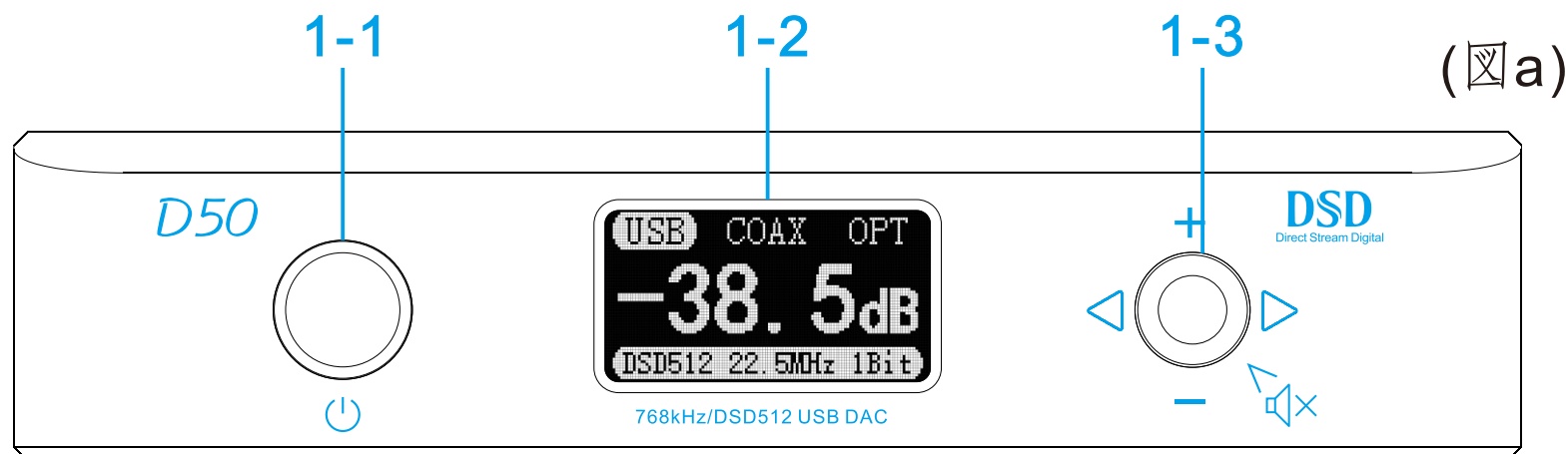
物 リ ス ト

D50本 体	x 1
電 源 ケ ー ブ ル	x 1
USBケ ー ブ ル	x 1
商 品 説 明 書	x 1
商 品 保 証 カ ー ド	x 1

(TOPPING製品のドライバと電子マニュアルにできるwww.tpdz.netでダウンロード。)

前パネル

- 1-1 スイッチ：電源が切られた状態で、ちょっと押しによって、システムの設置インターフェースにインプットしたり、アウトプットしたりする。逆に長押しと、電源が切る。
- 1-2 OLEDスクリーン
- 1-3 多用レバー、メインインターフェース下には、左右のがインプット源を切り替える機能、上下はボリューム制御、真ん中は音けし制御である。システムのパラメータ設置インターフェースの下には、上下は設置機能の選定、左右は設置する際、機能にパラメータを選択するもので、真ん中は無効である。



後パネル

2-1 アナログ信号右サウンドトラック出力

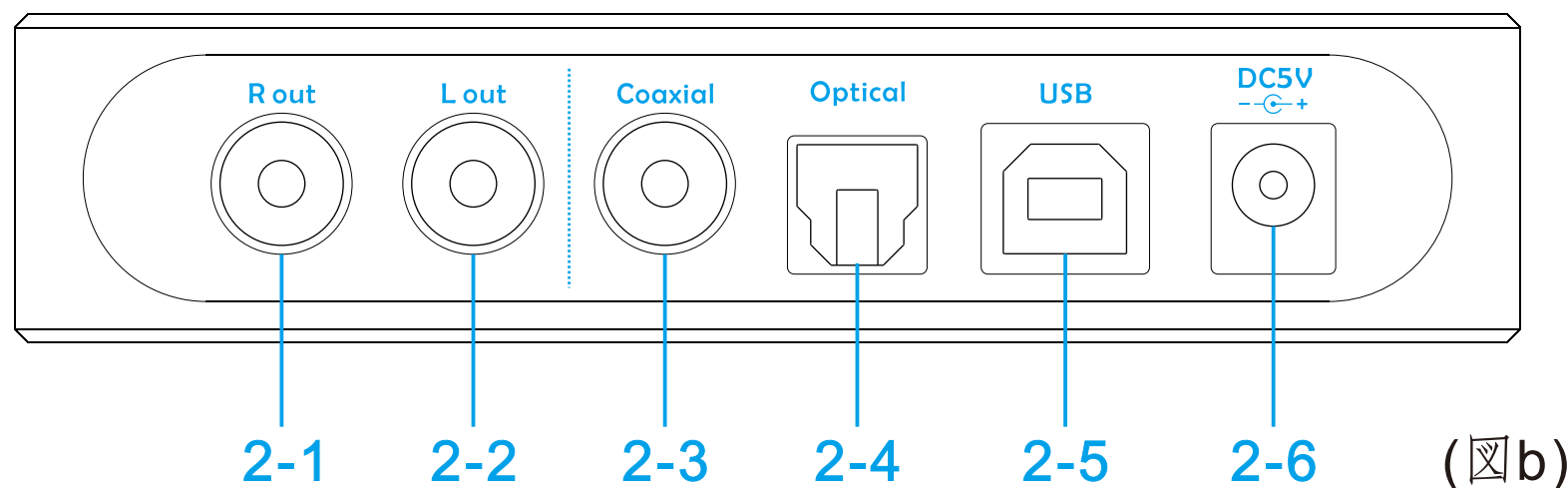
2-2 アナログ信号左サウンドトラック出力

2-3 同軸入力

2-4 光ファイバー入力

2-5 USB入力

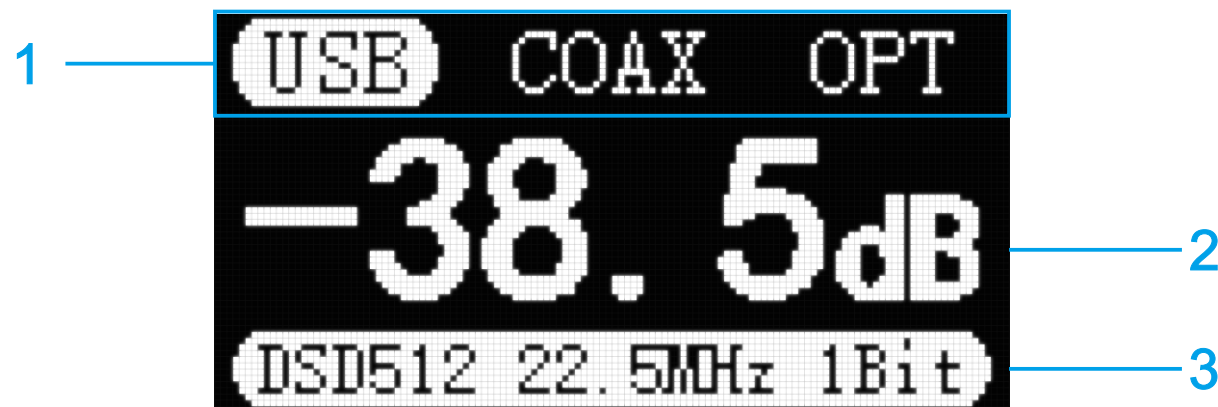
2-6 電源入力



規格

USB IN	44.1kHz-768kHz/16Bit-32Bit、DSD64-DSD512(Native)、 DSD64-DSD256(Dop)
OPT/COAX IN	44.1kHz-192kHz/16Bit-24Bit、DSD64(Dop)
電源	DC5V/1A
寸法	11.9cm x 11cm x 2.6cm
重さ	480g

出力振幅	2Vrms@0dBFS
THD+N特性	<0.0005% @1kHz A-weighting
ノイズ・フロア	<2uVrms @A-weighting
Crosstalk	-116dB @1kHz
SNR	122dB
出力インピーダンス	100Ω



(図c)

- 1、入力シグナル
- 2、音量
- 3、オーディオフォーマット

システムパラメータの設置インターフェース

1	1. PCM FIR	MODE1
2	2. DISPLAY	AUTO
3	3. AUTO	OFF
4	4. Factory reset	

(図d)

- 1、PCMを再生する際のフィルター方式として、MODE1-MODE7がある。

MODE1: apodizing fast roll-off filter

MODE2: minimum phase slow roll-off filter

MODE3: minimum phase fast roll-off filter

MODE4: linear phase slow roll-off filter

MODE5: linear phase fast roll-off filter

MODE6: brick wall filter

MODE7: corrected minimum phase fast roll-off filter

システムパラメータの設置インターフェース

1	1. PCM FIR	MODE1
2	2. DISPLAY	AUTO
3	3. AUTO	OFF
4	4. Factory reset	

(図d)

2、ディスプレイ明るさ配置

30%、60%、100%及びAUTOなどのモデルがあり、特に、**AUTO**モデルの場合はスクリーンの明るさは**100%**になり、そのまま**30秒**を置いたら、スクリーンが自ずから **off**になる。

3、電源を自動的にON/OFFにする機能

注：システムパラメータの設置インターフェースに入ったら、そのまま**10秒**までおいたら、自ずからキャンセルになる。

システムパラメータの設置インターフェース

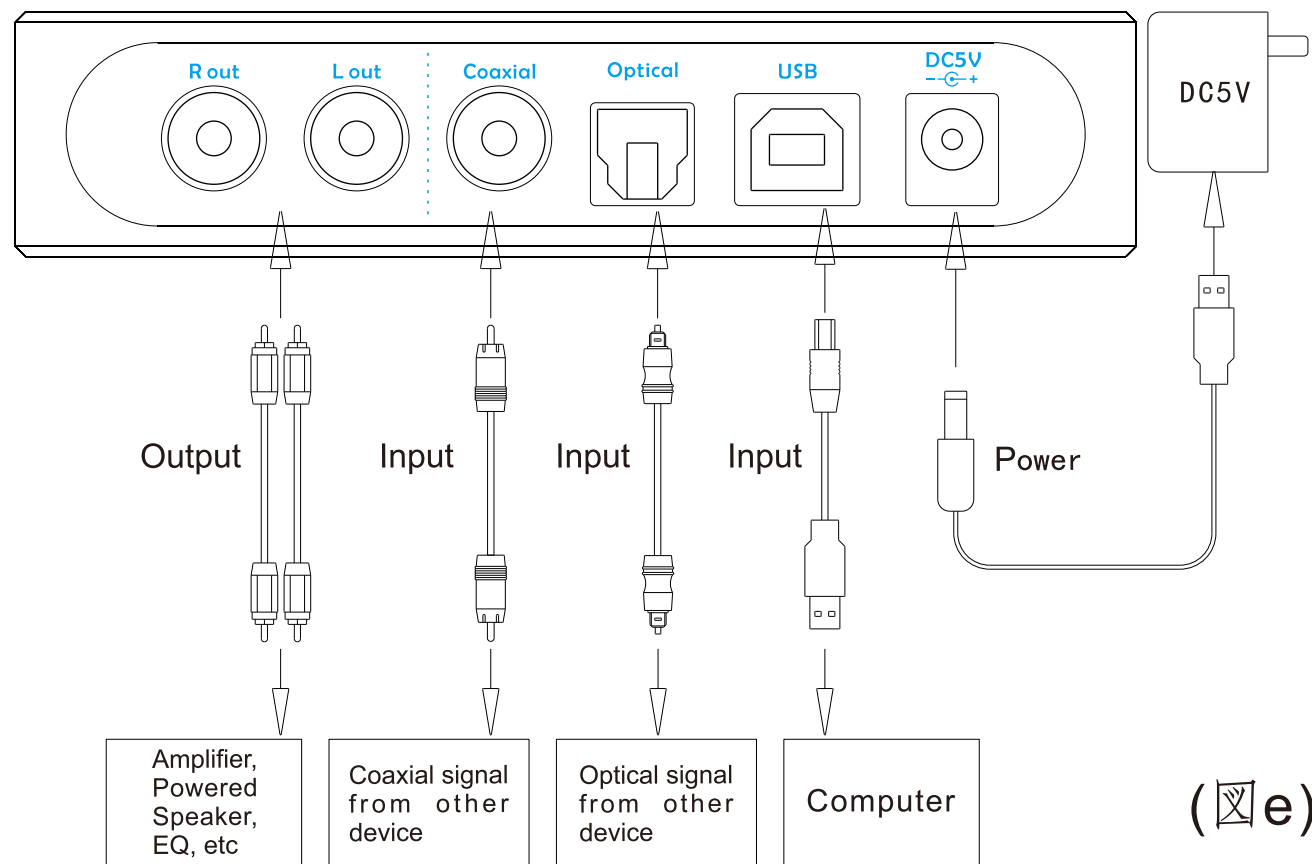
1	1. PCM FIR	MODE1
2	2. DISPLAY	AUTO
3	3. AUTO	OFF
4	4. Factory reset	

(図d)

4、工場出荷時の設定にリセット

工場の設置を再開した後、デバイスのパラメータはシステムのデフォルト値に戻ります。1—3のシステムパラメータのデフォルト値はそれぞれ：MODE1、30%、ON.

使用案内



1、デコーディング機能について

- ① USBケーブルでD50をPCに繋げ、または、同軸線でD50をCDに繋げる（図のe）；

- ② **D50**の**Line Out**とヘッドホンアンプ・アンプを接続してください；
- ③ **PC**テーブルで音楽を流し、ヘッドホンアンプ或いはアンプの音量を適切に調整してください、美しい音楽が流れてきます。

注：最初**PC**を利用する場合は、先にドライバーを入れなければならない、扱い及び再生設置は「**D50**ドライバー扱い説明」と「**DSD** 配置案内」をご参考。

故障排除

故障現象	原因分析	排除方法
COAX/OPT入力、騒音	シグナルの形式が間違っているか、対応範囲を超えられている	入力シグナル形式をチェック
USBが識別されていない	USBの接続が不適切	USBケーブルをチェック か新しいものに交換
	コンピュータのUSB端子が壊れている	ほかの端子に接続
	OSに問題がある	OSをインストールしなおす
	ドライバーがよくインストールされていない	ドライバーをインストールしなおす
USB入力、音声無し	コンピュータ側の音量が小さい	音量を調整
USB入力、断続的	コンピュータがビジーで、本商品への対応が断続的に行っている	コンピュータの回復を待つ
USB入力、爆音	ソフトウェアの問題	BIOSのドライバー及びシステムパッチを更新
問題を解決できない場合、私たちにご連絡ください。（service@tpdz.net）		

日常における注意事項

- ① **D50**をサウンドカードとして使用した場合、音楽や映画・ゲームなど音声が出力する途中に**USB**ケーブルを抜いてはいけません、その操作で、コンピュータの異常フリーズになる恐れがあります。
- ② 本商品の出力シグナルは地面への接続やショートが禁止。
- ③ 本商品を高温高湿の環境に置いてはいけません、雨の濡れや強い衝撃をお避けください。
- ④ 本体のケースを無断解体してはいけません、修理が必要な場合、専門スタッフにお尋ねください。
- ⑤ 室内のみでご使用ください。

テスト曲線

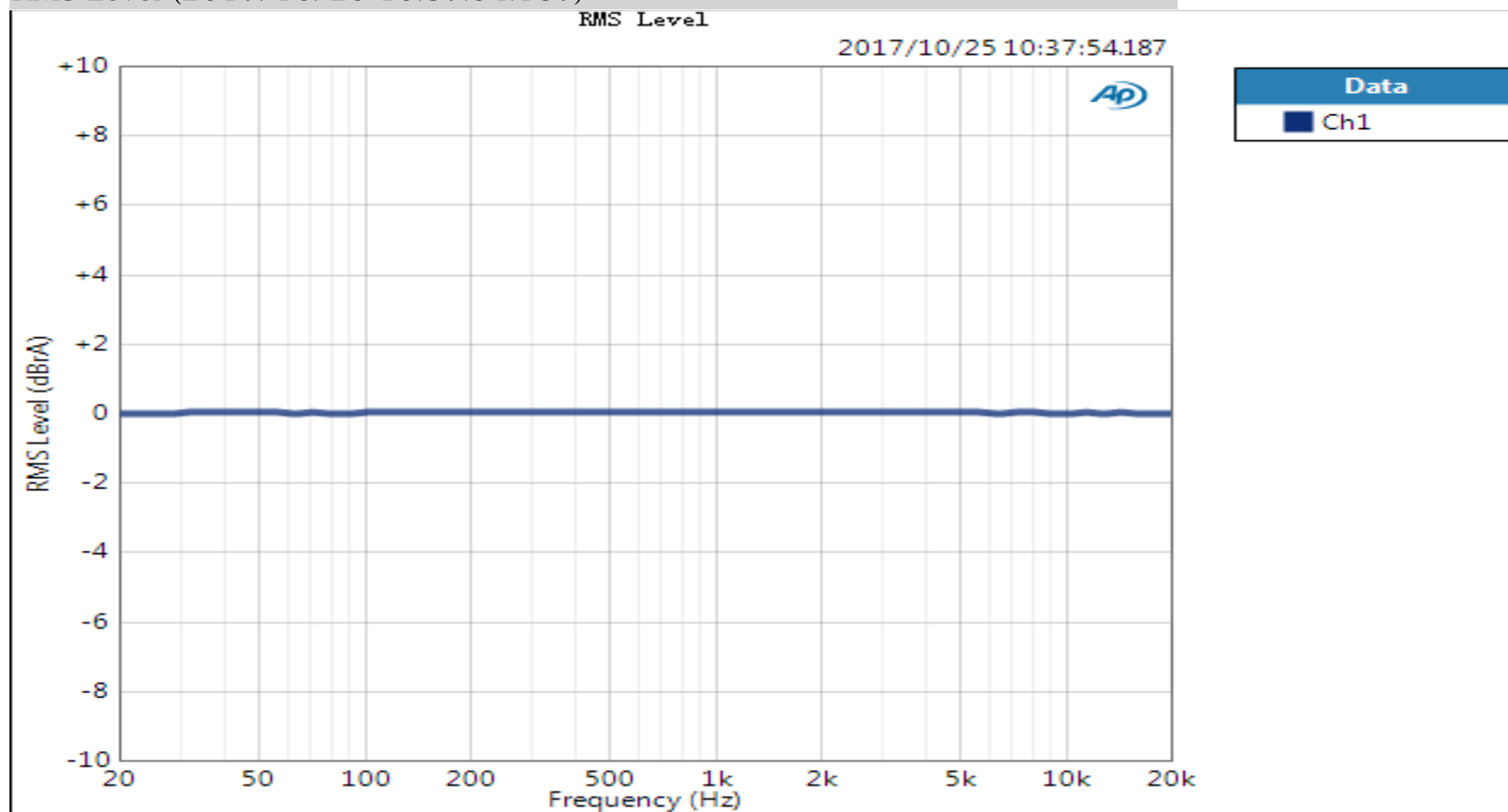
RMS Level

Audio
precision

Bench Mode : Sweep

Measured 1 2017/10/25 10:37:54, D50 Frequency Response For Line Out @ Input=USB

RMS Level (2017/10/25 10:37:54.187)



テスト曲線

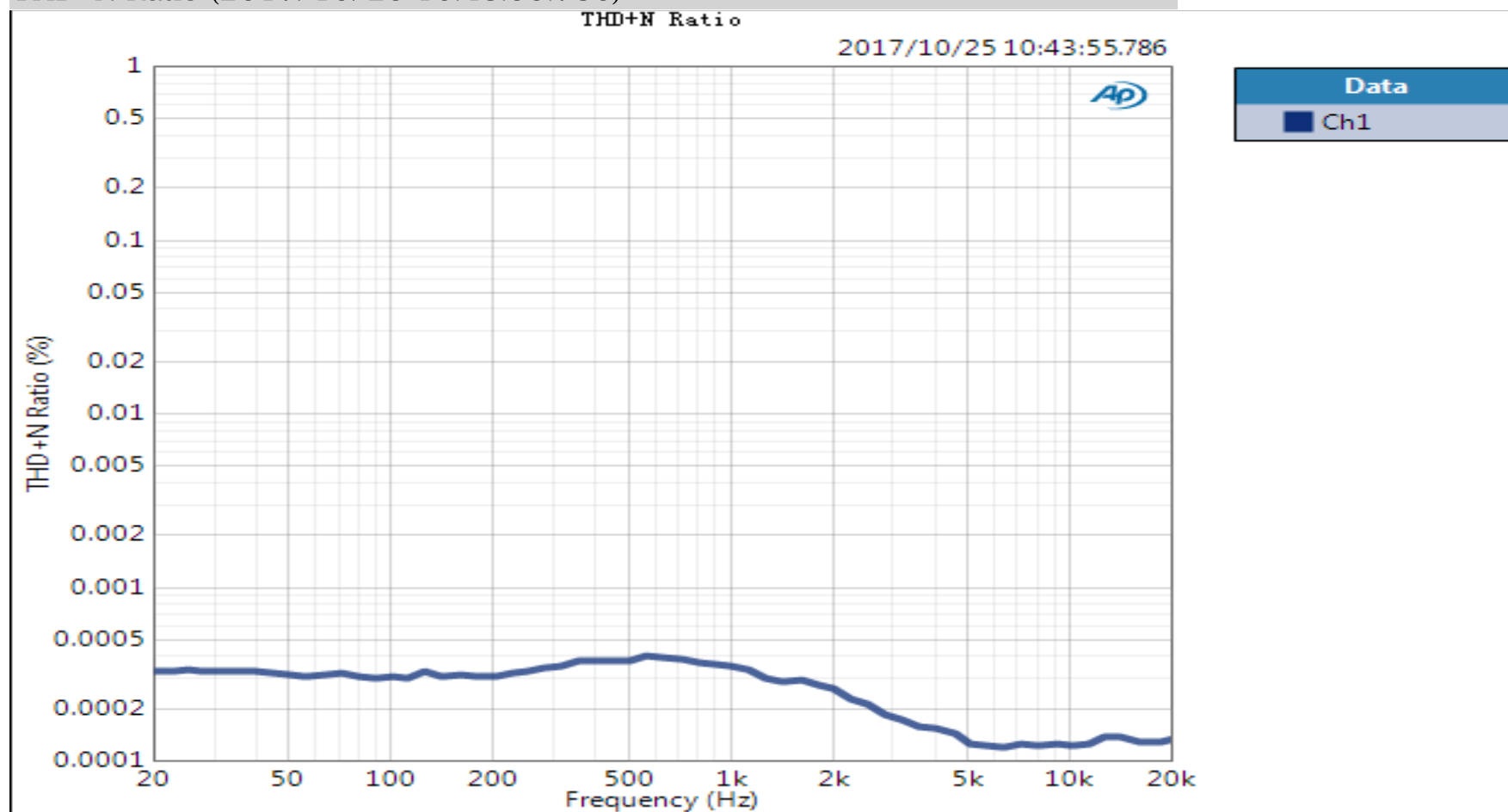
THD+N Ratio

Audio precision

Bench Mode : Sweep

Measured 1 2017/10/25 10:43:55, D50 THD+N For Line Out@A-Weighting

THD+N Ratio (2017/10/25 10:43:55.786)



テスト曲線

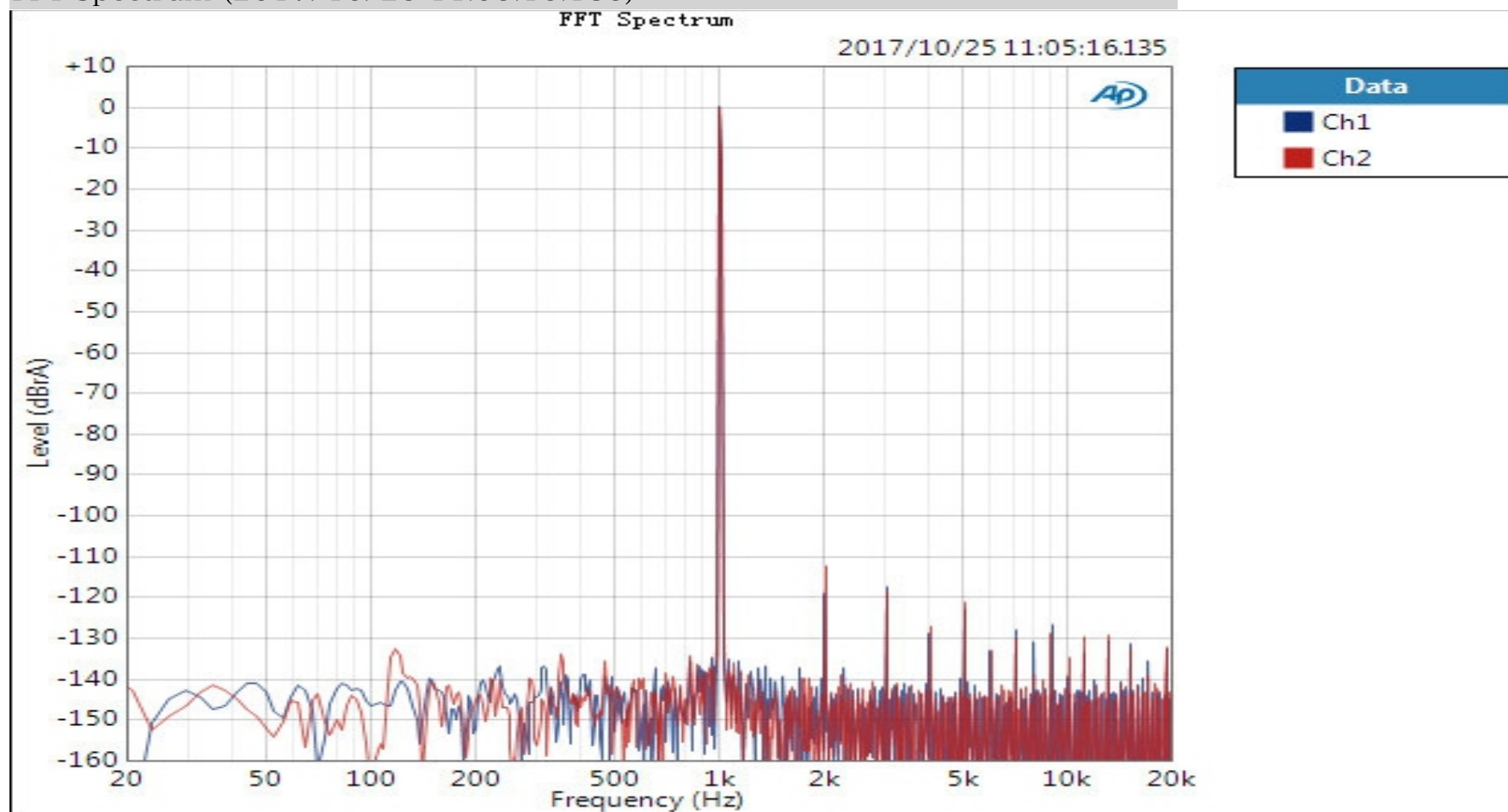
FFT Spectrum

Audio
precision

Bench Mode : FFT

Measured 1 2017/10/25 11:05:16, D50 FFT For Line Out@1KHz

FFT Spectrum (2017/10/25 11:05:16.135)



テスト曲線

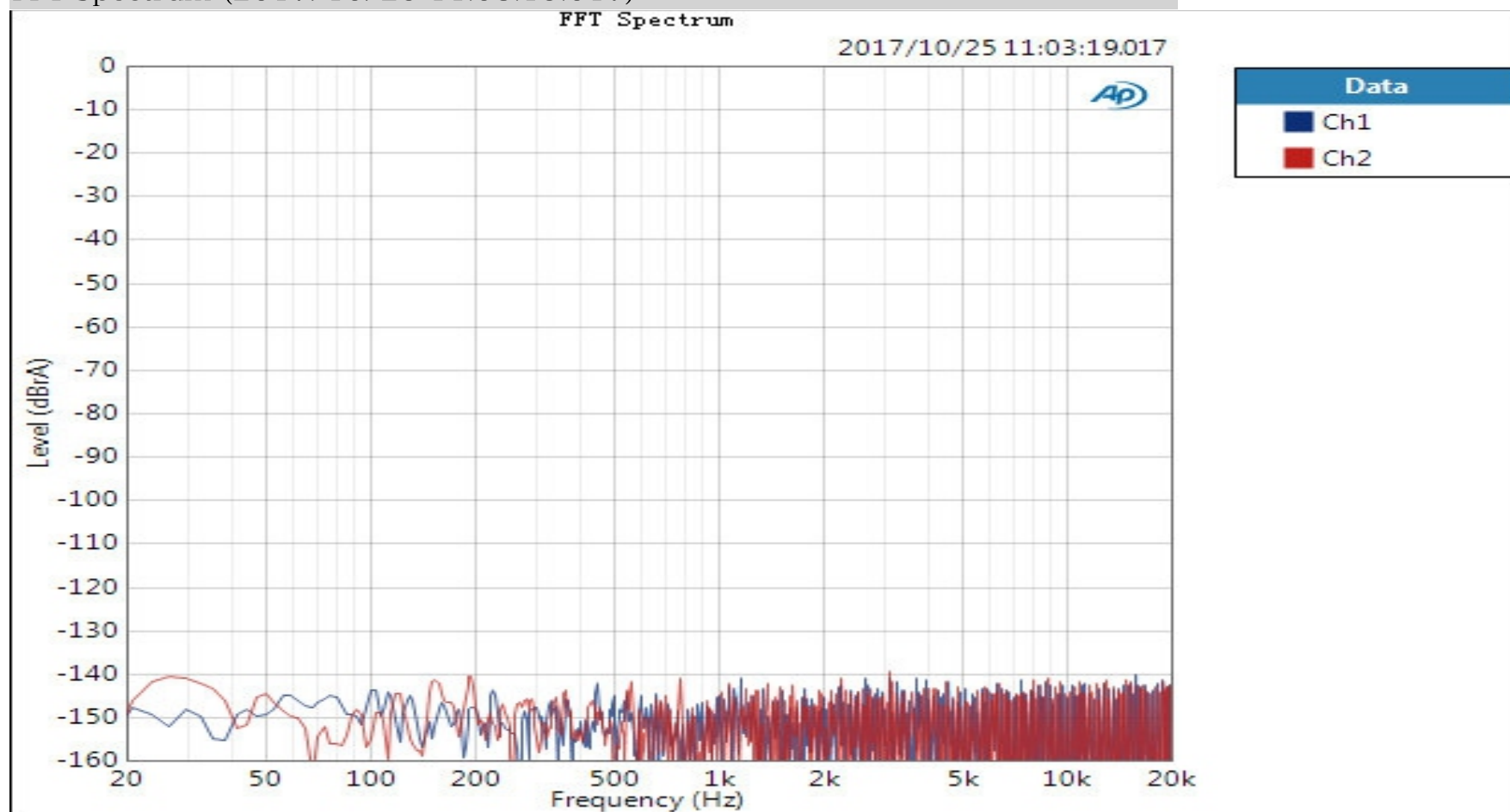
FFT Spectrum

Audio
precision

Bench Mode : FFT

Measured 1 2017/10/25 11:03:19, D50 Noise For Line Out

FFT Spectrum (2017/10/25 11:03:19.017)



TOPPINGTM

Address: 26th Jiaomen Road, Huangge Town,
Nansha District, Guangzhou, China.

Tel : +86-020-37219489
Fax : +86-020-37219489
<http://www.tpdz.net/>